

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-02-01	
事務事業名	消防施設管理事業			
	昭和46年度から	根拠法令・要綱等	消防法令	
事業開始年度	昭和46年度から			
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先	総務課
	中項目 基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	職・氏名	消防防災係長 大西武志
	小項目 施策	消防・防災	電話	64-1809

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	地域住民
目的 (何のために)	水利がない場所での水利確保を行うため、消火栓、防火水槽など整備することにより、火災等の災害を軽減することを目的とする
行政活動 (どのような方法で)	防火水槽、消火栓、消防車両、可搬ポンプ等の資機材の整備
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	消防水利の充足

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	消火栓設置	基	3	5	5
	防火水槽設備	基	2	0	0
	可搬ポンプ購入	台	1	1	1
	消防車両購入	台	0	6	1
	直接事業費		14,740	30,265	22,616
	人件費	千円	2,600	2,075	1,912
	事業費計		17,340	32,340	24,528
	国県支出金			2,520	
	受益者負担	千円	800	20,600	13,900
市一般財源		16,540	9,220	10,628	
必要人員	人	0.30	0.30	0.26	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	消火栓設置数	説明	3	5	5
	結果指標量	基	-	166.7%	100.0%
	対前年比	%	1,205,000	2,261,945	2,139,177
	活動コスト	円	401,667	452,389	427,835
単当たりコスト	円				
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	防火水槽設置数	説明	2	0	0
	結果指標量	基	-	0.0%	0.0%
	対前年比	%	8,491,000	0	0
	活動コスト	円	4,245,500	0	0
単当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	消防水利数	式又は説明	消火栓(501)、防火水槽(264)
成果指標量	17年度 755	18年度 760	19年度 765
対前年比	100.66%	100.66%	100.66%
到達目標値	770	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	火災等による被害を最小限に抑えるため、消火栓等の消防水利や消防ポンプ等の整備を図ることは妥当である。	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	行政活動		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	効率性評価<A~E> C	
	市民ニーズ		
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	消火栓、防火水槽の設置については、設置場所、工法等により単価が変動するが、経費節減に努力している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
手	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価<A~E> C	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A~E> C	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	消火栓の増設により水利不足、地域住民の不安解消を図ることができ、消防車両を整備することで消火活動の迅速化が図られた。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	消火栓3基新設を予定している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 3	結果指標量	0
成果指標量	768		

総合評価		評価区分 <A~E>	C
消火栓、防火水槽などの消防施設は、火災からの被害を減災する施設であることから、その整備及び維持管理は重要な業務である。また、消防車両などの消防資機材の更新や配備は、今後も必要に応じて整備することが必要である。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	自然水利、ため池などの水利の活用ができるよう関係部署と協議	平成19年度以降	コスト削減につながる